

今年の4月の終わりにから10月の初旬までフロンティアリーグのシャンバーグブーマーズにてプレーをしていた大竹秀義です。

自分がいたフロンティアリーグでは27歳以下の選手が集まるリーグで若い選手が多く、3Aや2A、1Aといった所から来てプレーする選手たちもいました。

環境も良く、各チーム専用のスタジアムを持っており、週末になるとたくさんのお客さんが来られ盛り上がっていました。

それとアメリカ特有かもしれませんが、すごく選手の入れ替えが激しい所でした。自分がいたチームでは1シーズンで20人くらいの選手が入れ替わりました。もちろんMLB傘下のマイナーリーグチームに昇格した選手もいます。その他は他のリーグに移籍やトレード、リリース(解雇)といった感じでした。

いつも隣にいた選手がいなくなる。嬉しい気持ちや寂しい気持ち、悔しい気持ちを持ちつつ、本当に1日1日が勝負で、自分にとってはすごくやりがいのあるリーグであると同時に自分を成長させてくれるアメリカ野球でした。

それにこれが海外の選手の強さなんだと自分自身このリーグに入り分かりました。この場所にこれたのも皆様のご支援やご声援があつての事だとすごく感じる事ができました。本当にどうもありがとうございました。

